



特集

「赤ちゃんの頭のかたち外来」 を開設しました

心臓弁膜症に対する 新たな治療法を開始

鳥の巣海岸(田辺市)

CONTENTS

- Topics**
- 膵がんセンター「膵がんドック」新プランのご案内
 - 飲食スペースを新たに設けました
 - 就任の挨拶(泌尿器科学講座・柑本教授)
 - 医療安全推進部について

- Information**
- 2025年度 日本肝臓学会市民公開講座
～肝がん撲滅を目指して～
 - 令和6年度和歌山県立医科大学功績表彰
 - 白衣授与式

【理 念】

私達は安全で質の高い医療を提供し、地域の保健医療の向上に貢献します。

【基本方針】

1. 患者さんとの信頼関係を大切に、十分な説明と理解に基づく同意を得て、安全な医療を行います。
2. 高度で先進的な医療の研究をすすめ、その成果を反映した医療を行います。
3. 豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人を育成します。
4. 和歌山県の基幹病院として、地域の保健医療に貢献します。

広報誌「まんだらげ」の名称について

和歌山を代表する江戸時代の外科医・華岡青洲(はなおかせいしゅう)が全身麻酔薬として用いた植物「曼荼羅華(まんだらげ)」から引用しています。花に「医」の文字をデザインしたものは、本学の校章にも採用されています。

「赤ちゃんの頭のかたち外来」を開設しました



2023年11月より、形成外科では「赤ちゃんの頭のかたち外来」を始めました。この外来は、赤ちゃんの頭のかたちが気になるご家族のための専門的な外来です。

赤ちゃんの頭は、生まれてから1歳半頃までやわらかく、成長の過程でかたちも変わっていきます。向きぐせや寝かせ方などの影響で、後頭部が平らになったり、左右非対称になったりする頭の「ゆがみ」が生じることがあります。このゆがみは、成長とともに目立たなくなる場合もありますが、状態によっては早めの対応が大切です。

まず、医師が赤ちゃんの頭を触って診察し、ゆがみの程度を確認します。必要に応じて3Dスキャナーを使った詳しい測定を行い、頭のかたちを正確に評価します。ゆがみが強い場合、赤ちゃんの頭に合わせた専用の「ヘルメット治療」をご提案させていただきます。

このヘルメット治療は、生後4～8か月ごろから始める

のが一般的ですが、できるだけ早く始めることで、より効果が得られやすくなります。

また、まれに脳の成長を妨げる「頭蓋縫合早期癒合症（ずがいほうこうそうきゅこうしょう）」という病気が隠れていることもあります。この病気は早期の診断と治療がとても大切です。こうした病気の可能性もふまえて、形成外科医が丁寧に診察し、ご家族にわかりやすくご説明いたします。

お子さまの頭のかたちが気になる場合は、どうぞお早めにご相談ください。



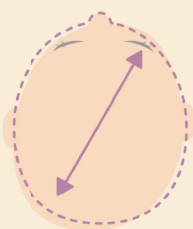
▲ヘルメット治療

頭の変形(ゆがみ)とは?

頭の変形には大きく分けて右の3つの種類があります。頭の変形した状態を「変形性斜頭」「変形性短頭」「変形性長頭」といいます。まれに「頭蓋縫合早期癒合症」という病的変形もあります。

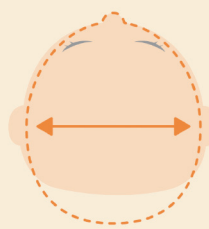
変形性斜頭

上から見たときに左右非対称です。顔や耳の左右差も見られる場合があります。



変形性短頭

上から見たときに前後径が短い頭の形です。いわゆる絶壁頭です。



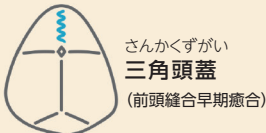
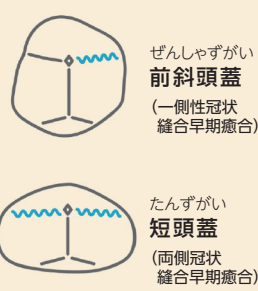
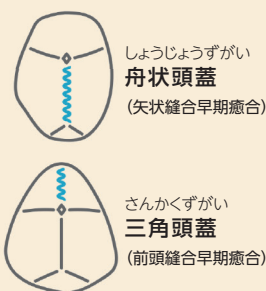
変形性長頭

上から見たときに前後径が長い頭の形です。



頭蓋縫合早期癒合症

赤ちゃんの頭は脳の成長のため複数の骨が緩やかに結合しています。からだの成長とともに赤ちゃんの脳も急速に成長していきますが、通常よりも早く骨同士が結合してしまうと脳の成長が阻害される可能性があります。早期にご相談いただく事で適切な治療を選択可能です。頭のかたちが気になったらお近くの専門外来を受診してください。



(器質性僧帽弁閉鎖不全症)

心臓弁膜症に対する 新たな治療法を開始

心臓弁膜症(器質性僧帽弁閉鎖不全症)に対する PASCALシステムを用いた経皮的僧帽弁接合不全修復術(クリップ術)

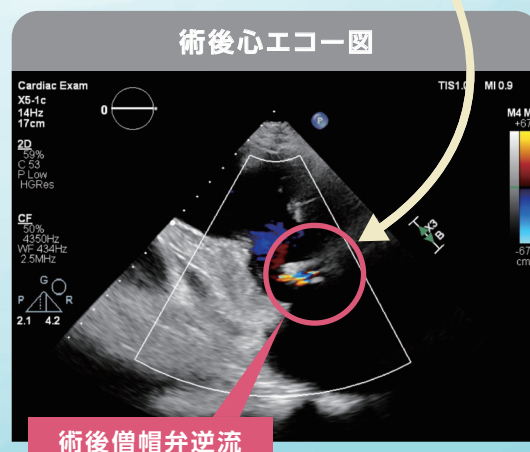
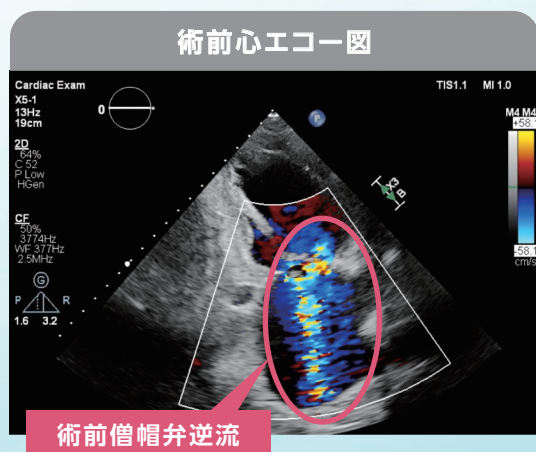
心臓の弁に障害が起き、本来の役割を果たせなくなった状態を心臓弁膜症と呼び、高齢化の進行とともに増加しています。そのうち、肺で酸素を渡された血液が戻ってくる左心房と左心室との間にある僧帽弁がうまく閉じなくなることによって、血液が左心室から左心房に逆流する僧帽弁閉鎖不全症が増加しています。治療の選択肢として、薬物治療と外科手術がありますが、外科手術は心機能低下、併存疾患、高齢などの理由で困難である場合が多く、最近まで他に有効な治療法がありませんでした。

近年、僧帽弁閉鎖不全症に対するカテーテル治療として、**経皮的僧帽弁クリップ術**が登場し、当院では2022年9月より施行しています。全身麻酔でカテーテルを足の付け根から挿入し、僧帽弁にクリップを留置します。治療後は翌日から歩行可能で、外科手術と比較して、体への負担が少ない治療法です。これまでは、主に心機能低下に伴った機能性僧帽弁閉鎖不全症に対してマイトラクリップを用いて、40例の治療を行ってきました。

新たに僧帽弁逸脱などの器質性僧帽弁閉鎖不全症

に対して**PASCALシステム**が使用可能となり、当院では2025年1月より導入しました。これまでのマイトラクリップでは治療困難であった患者さんに対して有効な治療法であり、従来のシステムと比較して、弁尖構造に沿って適合し、心拍動に追従しやすいため、僧帽弁に対するストレスが少なく、弁尖組織の損傷を軽減することができます。

これらのシステムを組み合わせることによって、これまで以上に多くの外科手術ハイリスクの僧帽弁疾患患者さんに対してより安全な治療を提供することで、地域医療への貢献を継続してまいります。



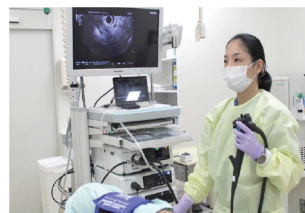
膵がんセンター「膵がんドック」新プランのご案内

膵がんは初期での発見が難しく、見つかった時には既に進行している場合が非常に多いがんです。膵がんセンターでは、膵がんの早期発見のため検診に特に力を入れており、膵がんドックを行っています。

この度、新たに「ブロンズプラン」と「採血オプション」を導入しました。

プラン名	内 容	検査内容	料金(税込)※1
プラチナプラン (火・木・曜日)	胆肝膵すべてを診る最も充実したプラン。超音波内視鏡検査(胃カメラ)で胃も同時に診ることができます。(所要時間:約5~6時間)	●血液検査 ●MRI検査 ●腹部エコー検査 ●超音波内視鏡検査	121,660円
ゴールドプラン (月・曜日)	胆道・膵臓を診るプラン。超音波内視鏡検査で胃も同時に診ることができます。(所要時間:約4~5時間)	●血液検査 ●MRI検査 ●超音波内視鏡検査	114,180円
シルバープラン (水・曜日)	精密エコー(半座位法・胃充満法)で肝胆膵を診るプラン。検査が比較的短時間、胃カメラに抵抗がある方向けの検査。(所要時間:約3時間)	●血液検査 ●MRI検査 ●膵精密エコー検査	103,400円
ブロンズプラン (金・曜日)	超音波内視鏡を用いて、胃と胆・膵を同時に診ることができます。(所要時間:約4~5時間)	●血液検査 ●超音波内視鏡検査	88,440円

採血オプション※2	内 容	料金(税込)
APOA2-ITQ	従来の腫瘍マーカーとは異なる物質を測定する、新規のバイオマーカー。	3,740円
PSA	採血のみで行う前立腺がんのスクリーニング検査。	1,320円



▲ 超音波内視鏡検査



▲ MRI検査



▲ 腹部エコー検査

※1 費用は全て自費になります
※2 採血オプションはどのプランでも選択していただけます

●膵がんドックのお申し込み

膵がんドックは平日のみの予約制です。プランを選んでいただいた上で下記へお電話いただき、予約してください。

▶ 電話予約センター TEL:073-441-0489

【受付時間】8:30~16:00まで(土・日・祝日・年末年始を除く)

膵がんドックについて詳しくはホームページをご参照ください▶



膵がんセンターでは膵がんの治療についても積極的に取り組んでいます。膵がんの治療をご希望の方は下記へご連絡ください。迅速に診察予約を取得いたします。

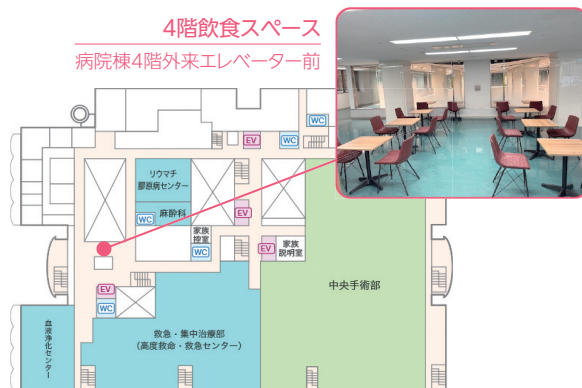
▶ 膵がんセンター TEL:073-441-0905

【受付時間】9:00~16:30まで(土・日・祝日・年末年始を除く)

飲食スペースを新たに設けました

患者さんからのご要望を受け、院内に飲食スペースを設けました。3階キッズスペース横と4階外来エレベーター前の2か所(下記参照)に設置しました。是非、ご利用ください。お待ちになる際には、待合番号を病院外来アプリ・スマパ(Sma-pa)でご確認いただけますので、こちらも併せてご活用ください。

Sma-pa
ダウンロード
はこちら▶



教授就任挨拶

地域に最先端の高度な泌尿器科医療を



泌尿器科学講座 教授
相本 康夫

2025年4月1日付けで和歌山県立医科大学泌尿器科学講座の教授を拝命いたしました。就任に際しご挨拶を申し上げます。

泌尿器科は、尿路や男性生殖器に発生する疾患を扱っています。近年、腎がん、前立腺がんなどの悪性腫瘍をはじめ、高齢化に伴って排尿障害、尿路結石、尿路感染症なども増加傾向にあり、私たち泌尿器科医の果たすべき役割は益々大きくなっています。泌尿器腫瘍に対する手術は、開腹や腹腔鏡からロボット支援手術に移行しつつありますが、当科ではこれらの手術を先進的に導入するとともに、高難度とされる膀胱がんにおける体腔内尿路変向術や腎がんにおける下大静脈腫瘍塞栓摘除術も行っています。また、大学病院としては稀ですが、尿路結石症の総合的診療も行っているのが当科の特色です。体外衝撃波結石破碎術や内視鏡手術だけでなく、結石形成の原因診断や再発予防にも積極的に取り組んでいます。

和歌山県内唯一の大学病院として、地域に最先端の高度な泌尿器科医療を安全に提供すべく努めて参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

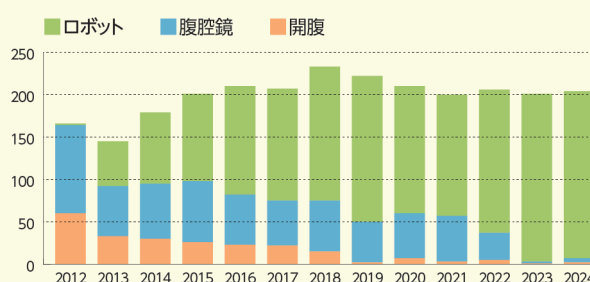
経 歴

- 1991年3月
和歌山県立医科大学医学部 卒業
- 1991年4月
和歌山県立医科大学附属病院 診療医
- 1993年4月
和歌山県立医科大学大学院医学研究科
(外科系専攻) 博士課程 入学
- 1997年3月
和歌山県立医科大学大学院医学研究科
(外科系専攻) 博士課程 修了
- 1997年4月
和歌山県立医科大学 泌尿器科学 助手
- 1998年1月
米国マサチューセッツ大学 留学
- 1999年10月
市立岸和田市民病院 泌尿器科 医長
- 2001年4月
和歌山県立医科大学 泌尿器科学 助手
- 2004年9月
和歌山県立医科大学 泌尿器科学 講師
- 2010年6月
和歌山県立医科大学 泌尿器科学 准教授
- 2025年4月
和歌山県立医科大学 泌尿器科学 教授

診 療 内 容

泌尿器科では、2012年にロボット支援前立腺全摘除術を開始した後、これまでに約1700件のロボット手術を行ってきました。また、腎部分切除術、膀胱全摘除術、腎・副腎摘除術にもロボット支援手術が保険適用となったため、当科では2023年以降はほぼ全ての泌尿器腫瘍手術をロボットで行なっています(下図参照)。悪性腫瘍については、近年、次々と開発されてきた免疫チェックポイント阻害薬などの新薬や放射線治療を組み合わせた集学的治療にも積極的に取り組んでいます。また、腎移植、排尿障害、小児泌尿器、尿路感染症などについても、専門的な診療が行える体制を整えています。

泌尿器腫瘍手術の推移

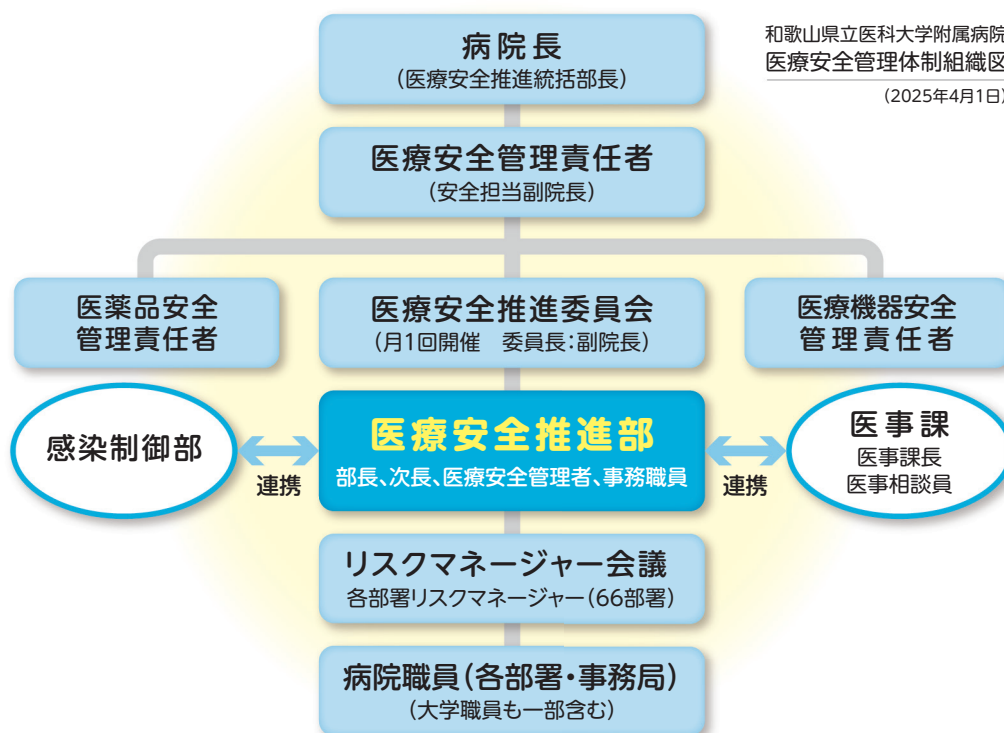


医療安全推進部について

医療安全推進部は、医療事故等の防止と医療の安全の確保を目的に設置され、病院組織全体として医療安全の推進と安全文化の醸成・確立に取り組んでいます。

業務内容

- インシデント・アクシデント報告の収集と分析評価、再発防止策の検討と職員への周知
- 定期的な院内巡回による医療安全に関する確認や調査および指導
- 各部門のリスクマネージャーと連携した安全対策の検討
- 医療事故調査制度に基づいた院内調査と報告
- 医療における倫理的問題の相談 等



医療安全推進部 田村部長就任挨拶

令和7年4月から医療安全推進部部長に就任した田村彰です。和歌山県立医科大学附属病院は、和歌山県唯一の特定機能病院で、高度で専門性の高い医療を提供しています。医療レベルが高度化、専門化するほど、医療事故のリスクは高まり、「医療安全」の重要性が増していきます。医療安全推進部は専従の医師、看護師、薬剤師で構成され、各部門の「医療安全」を適切にサポートする体制を敷いています。

近年の「医療安全」では、厳格な規則により事故を防止する視点だけでなく、医療の質改善や医療の効率化により、成功事例を増やす視点の安全対策も求められています。また、異なった意見や新しい考えが尊重され、問題点を指摘できるような心理的安全性の高い組織作りも重要とされています。全職員の「医療安全」に対する意識を高め、基本的知識、実践的スキル向上、安全に取り組む態度を養成し、質の高い医療を提供できるように活動してまいります。



▲ 田村部長(前列中央)とスタッフ

2025年度 日本肝臓学会市民公開講座

～肝がん撲滅を目指して～

近年、脂肪肝やアルコール多飲による慢性肝臓病の方が増えています。肝臓は沈黙の臓器と言われており、肝臓病になってもほとんど自覚症状はなく、肝硬変や肝がんに進みます。市民公開講座に参加し、肝臓病に関する理解を深めてみませんか。

参加無料
申込不要



▲ 昨年の様子

詳細に関しては当院肝疾患相談支援センターホームページ(右の二次元バーコード)をご参照ください。



- 開催日時 令和7年10月5日(日)
13:30～16:00
(開場12:30)
- 開催場所 和歌山県立医科大学 講堂
南和歌山医療センター2階地域医療研修センターにて同時中継をご視聴いただけます。
- 講演内容 「脂肪肝、アルコール性肝疾患、B型・C型肝炎、肝がん」に関して、当院消化器内科の医師がわかりやすく講演します。また、「肝臓にいい食事と運動」に関して、当院の管理栄養士と理学療法士が具体的に説明します。
- 参加方法 参加費無料、事前申し込み不要

令和6年度和歌山県立医科大学功績表彰

令和7年3月26日、ホテルアバローム紀の国にて、本学の中尾直之理事長から卒業生6名、教職員7名と1グループに表彰状と副賞を授与しました。

この表彰は、エバグリーン廣甚株式会社様からの寄附により設立した「エバグリーン基金」をもとに、特に優秀な成績を修めた本学卒業生及び顕著な功績をあげた教職員を対象とする顕彰事業で今回が第4回の表彰となりました。

本学では引き続き、高度医療人教育、先端医学研究、高度先進医療、地域医療の充実強化へ向けて邁進していきます。



▲ 受賞した教職員

白衣授与式

医学部新5年生に対する白衣授与式を令和7年2月3日に本学講堂で執り行いました。全国共通の問題を用いて行う医学全般の知識・実技の試験に合格し、臨床実習を行うことを許された医学部生が医療人としての心構えを再認識し、決意を新たにすることを目的として、本学の校章を刺繍した白衣を授与しています。

式典では、壇上で全員に白衣を授与後、学生代表が臨床実習に向け、決意表明を行いました。現在、学生たちは各診療科において知識や技術の習得に一生懸命励んでいますので温かく見守っていただければ幸いです。



▲ 学生による宣誓

掲 示 板

予約センター からの お知らせ

～診察予約のご案内(初めて受診される方へ)～

当院の外来受診は、原則として「診療情報提供書(紹介状)」をお持ちの方による「予約制」とさせていただきます。ご予約は、かかりつけの医療機関等からFAXでお申し込みください。患者さんからの電話による初診予約はお受けできませんので、ご了承ください。

■ ご予約の流れ

- 1 かかりつけの医療機関等から当院所定の「紹介予約申込書」と「診療情報提供書(紹介状)」を予約センターあてにFAX送信してください。診療情報提供書がすぐにご用意できない場合は、予約申込日(かかりつけの医療機関等で予約を行った日)から概ね3日までを目途にFAX送信をお願いします。
- 2 予約をお取りし、予約日時・医師名を記載した予約票を発信元の医療機関にFAX返信します。夜間・休日の場合は翌平日の対応になります。
- 3 予約当日は、予約票・診療情報提供書(紹介状)・画像データ(必要時)・マイナンバーカード(保険証)・診察券(受診歴のある方)・各種医療券・常用薬・お薬手帳を持参のうえ、各診療科外来受付に直接お越しください。
- 4 予約日の変更は、当院予約センターにご本人からのお電話で受け付けさせていただきます。ただし、検査予約の変更については、当院の代表番号(073-447-2300)から各診療科外来へ平日15:00～17:00におかけください。

予約センター(患者支援センター)

FAX(医療機関専用)・・・073-441-0805
【受付時間】月・火・水・金…9:00～19:00
 木……………9:00～17:00
 (土・日・祝日・年末年始を除く)

TEL(患者さんから予約変更専用)・・・073-441-0489
【受付時間】月～金…8:30～16:00(土・日・祝日・年末年始を除く)
 ※「痔がんドック」及び「がん検診後の2次検査」の予約については、
 上記予約変更専用番号にてご予約が可能です。

最新の医学・医療カンファランスのお知らせ

令和7年度第4回市民公開講座を下記の通り開催します。医学・医療に関する専門的知識は必要ありませんので、興味のある方は、ぜひご参加ください。

- 開催日 令和7年8月14日(木) 14:00～16:00
- 会 場 本学 紀三井寺キャンパス 図書館棟3階 研修室
- 内 容 講演Ⅰ『脳卒中と認知症:いっぺんに予防しよう!』
講演Ⅱ『新型タバコってなに? 身体によいの?』



▲ 図書館棟

【申し込み・問い合わせ】

生涯研修センター TEL.073-441-0789
 メール・FAXの場合は右のコードから
 申込書をダウンロードし、記入のうえ
 life@wakayama-med.ac.jp
 FAX.073-441-0713 まで
 締切:令和7年7月24日(木) 定員:先着30名



患者さんの権利

当院では、受診される皆様が、以下の権利を有することを確認し、尊重します。

1. 個人として尊厳と人格が尊重され、平等に良質な医療を受ける権利があります。
2. 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
3. 十分な情報を得た上で、自己の意思に基づいて医療を受け、あるいは拒否する権利があります。
4. 他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
5. 個人情報やプライバシーを保護される権利があります。

※当院では、患者さんの安全を守ることを第一に診療を行っておりますが、他の患者さんや職員への暴力・暴言・大声・威嚇などの迷惑行為があった場合は診察をお断りすることや退去を求めることがあります。著しい場合は警察に通報いたしますのでご了承ください。

患者さんへのお願い

当院では、さまざまな医療を提供しておりますので、次のことを十分ご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

1. 適切な医療を実現するために、患者さんご自身の健康に関する情報をできる限り正確にお話してください。
2. 医療に関する説明を受けられて理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
3. 治療上必要なルールはお守りください。また治療を受けていて不安を感じましたらすぐにお知らせください。
4. すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするため、他の患者さんのご迷惑にならないようご協力ください。
5. 当院は教育・研究機関でもありますので、医学生・看護学生などが実習や研修を行っております。ご理解とご協力をお願いいたします。
6. 医師、看護職員、病院職員に対する謝礼、贈答品は固くお断りしています。

和歌山県立医科大学附属病院広報誌「まんだらげ」(vol.73)

2025年7月発行 発行/和歌山県立医科大学附属病院
 〒641-8510 和歌山市紀三井寺811-1

TEL 073-447-2300
FAX 073-441-0706

ホームページアドレス
<https://www.wakayama-med.ac.jp/hospital>
 「まんだらげ」はホームページからもご覧いただけます。



— 外来受付時間 —

- 受付時間:午前8時50分～午前11時30分
- 再診で予約のある方は指定時間(予約票の記載時間)
- 休診日:土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)
- ※診療スケジュールは、ホームページからご覧いただけます。

次号発行は
**2025年
 10月です。**